



カンセイコンサルタント株式会社
代表取締役 西畑 清志郎 様(左)

山王株式会社
副社長 深水 啓太 様(左)



株式会社キタグチ
代表取締役 北口 誠 様(左)

西邦電気工事株式会社
代表取締役社長 豊田 一生 様(左)
取締役総務部長 那須 幸浩 様(右)

企業版ふるさと納税によるご寄付を いただきました

本市の地方創生の取り組みにご賛同いただき、企業の皆様よりご寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。いただいたご寄付は、令和8年熊本地震からの復旧・復興や地域活性化のため、大切に活用させていただきます。企業の皆様からの温かいご支援は、宇土市の未来を支える大きな力となります。今後とも宇土市へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

寄付企業様の紹介(順不同)

- ジョギングコース整備事業
 - ・カンセイコンサルタント株式会社
- ジュニアスポーツ応援事業
 - ・西邦電気工事株式会社 ・株式会社キタグチ
- 中体連等派遣補助金事業
 - ・山王株式会社
- 令和8年熊本地震災害対策事業
 - ・株式会社フロンティアコンサルティング
 - ・株式会社プロバホールディングス
 - ・アスベスト調査分析株式会社
 - ・東京フォーミング株式会社
 - ・株式会社パレベストプラン
 - ・株式会社ビーロット ・新日本金属株式会社
 - ・株式会社ビジョン ・株式会社宮本工業所
 - ・株式会社クロス ・新栄クリエイティブ株式会社
 - ・株式会社NITTAI ・株式会社リライアブル
 - ・株式会社劔電機 ・株式会社八重洲栄屋
 - ・株式会社笑認 ・澄和造園土木株式会社
 - ・株式会社Fan ・株式会社熱工コウリツカ
 - ・株式会社アール ・株式会社合瀬製作所
 - ・株式会社大商 ・阪本薬品工業株式会社
 - ・アーク工業有限会社 ・柳井電機工業株式会社



宇土マリーナから出発し、最後は西岡神社で演奏しました

8/23(日) うとあるき2026 打って歩けば

令和8年熊本地震の影響で宇土市の「うと地蔵まつり」が延期となったことを受け、市内を太鼓の音とともに練り歩くイベント「うとあるき」が実施されました。「まつりが開かれるはずだった日を何もない日にしなかった」「頑張る若者の姿を見てほしい」という思いから企画されました。太鼓芸能集団「紬衣」、宇土天響太鼓、宇土高校和太鼓部「鼓」など、市内の太鼓演奏者が集結しました。当日は、宇土マリーナ、栗嶋神社、山王神社の3地点からそれぞれスタート。演奏者たちは太鼓を打ち鳴らしながら練り歩き、ゴールの西岡神社を目指しました。西岡神社で迫力ある演奏を楽しんだ観客からは、「元気をもらいました」といった感動の声が寄せられました。



しゃぼん玉で楽しそうに遊ぶ子どもたち

8/22(土) 宇土の子どもたちに最高の夏の思い出を！「うと あそぼーランド」が開催

つつじヶ丘公園にて「うと あそぼーランド」が開催されました！令和8年熊本地震の影響により、子どもたちが心待ちにしていた「うと地蔵祭り」の延期を余儀なくされる中、「なんとか子どもたちに夏休みの楽しい思い出を作りたい」という思いから、宇土市観光物産協会の有志が立ち上がり、このイベントを企画されました。わずか3日前の告知であったにもかかわらず、当日は2,000人を超える皆さまにご来場いただき、会場は大盛況！バブルゾーンやオバケヤシキゾーン、おいしいお店が並ぶフードゾーンなど、魅力あふれるエリアで子どもたちの弾けるような笑顔と歓声が溢れていました。



(左から)末松宇城市長、黄台南市長、光井市長、上田美里町長

9/12(土) 台湾・台南市から届いた『友好の絆』 市民の募金3,000万円とジュースの贈り物

令和8年熊本地震により被災した宇城地域(宇土市、宇城市、美里町)に、台南市民の皆様から温かい募金が寄せられました。台南市長自らが宇土市役所を訪れ、募金による寄付金を届けていただきました。寄付金贈呈式当日は、台南を代表する農産物であるマンゴーやパイナップルを使用したマンゴージュースとパイナップルジュースが、宇城地域の各所で無料提供されました。



避難所(ecowin宇土アリーナ)と宇土市役所を訪問した皆さん

9/6(日) 元世界王者・具志堅用高氏らが訪問 被災された方々へ温かいエール

地震で被災した宇土市を励まそうと、ボクシング界の関係者らが避難所への慰問と義援金の贈呈に訪れました。この活動は、自らも被災した元WBO世界ミニマム級王者の福原辰弥氏と吉田ボクシングジム STYLE TOP代表の吉田龍生氏(元OPBF東洋太平洋ランカー)が発起人となり実現したものです。当日は元WBA世界王者の具志堅用高氏やお笑い芸人のロバート山本氏も参加し、避難所の方々に温かい言葉を届けました。具志堅氏は「直接お話しできて本当に良かった。これからも自分にできることでお手伝いしたい」と語り、被災者に寄り添う姿勢を示しました。訪問後には宇土市役所で日本ボクシングコミッション(JBC)の安河内剛氏から光井市長へ義援金を手渡されたほか、県外からの応援職員が集まる「被害認定調査室」にも立ち寄り、現場で働くスタッフへ激励のエールが送られました。



寄贈されたぬいぐるみで遊ぶ園児たち

9/2(水) ポケモンと一緒に 子どもたちへ笑顔

一般財団法人ポケモン・ウィズ・ユー財団から、令和8年熊本地震で被災した子どもたちの心のケアや生活支援に役立ててほしいと、宇土市へ「ポケモンといつもいっしょ～せいかつおうえんブック～」とポケモンのぬいぐるみを寄贈いただきました。「せいかつおうえんブック」は、令和6年能登半島地震をきっかけに、災害による不安を抱える子どもたちに寄り添うために制作された教材です。ポケモンのキャラクターと一緒に、気持ちを落ち着かせる方法や、生活習慣などについて楽しく学ぶことができます。この日、宇土幼稚園では、学校教育課の職員から子どもたちへ冊子とぬいぐるみを手渡しました。ぬいぐるみを受け取った子どもたちは、さっそく一緒に遊び、うれしそうな笑顔を見せていました。



全国大会に闘志を燃やす うと少年野球クラブのメンバー

9/10木 うと少年野球クラブ、全国大会出場を報告 光井市長「暴れ回って」と激励

第3回年中夢球杯2026全国学童軟式野球大会に出場するうと少年野球クラブの選手ら30人余りが光井市長を訪ね、大会への決意を述べました。西本哲夫監督が「良い報告ができるよう暴れてきます」と述べ、木村丞一朗キャプテン(宇土小6)も「一戦一戦全力で戦ってきます」と約束。光井市長は「全国大会出場は市にとって明るい話題。ぜひ暴れ回ってきてください」と激励し、指導者やチームを支えてきた保護者らの労をねぎらいました。同クラブは平成29年設立。小学6年以下で構成し、24人が所属。全国大会は9月20～22日、埼玉県の大宮けんぽグラウンドで開かれ、全国47都道府県の予選を勝ち抜いたチームがぶつかります。



浦部さん(左)と白石さん(右)

上村さんと北村さん(左)

ねんりんピック 彩の国さいたま2026に出場

「ねんりんピック 彩の国さいたま2026」に、宇土市から2種目・4名のみなさまが熊本県代表として出場されます。1種目目は、埼玉県川口市で開催される「健康マージャン」です。出場されるのは浦部俊博さんと白石勤さん。お二人は毎週火曜日の午後、宇土市役所別館に仲間と一緒に集まり、和気あいあいと楽しみながら腕を磨かれています。2種目目は、埼玉県加須市で開催される「グラウンド・ゴルフ」です。出場されるのは上村哲也さんと北村静剛さん。お二人とも今回、初めて熊本県代表としてねんりんピックに挑みます。みなさまのご健闘をお祈りします。



賞状を手にする村田選手(左)と光井市長

9/8火 網田小6、村田選手が全国大会へ 光井市長「明るい話題をありがとう」

第42回全国道場対抗剣道大会・全国道場少年剣道選手権大会(10月25日、岩手・花巻市総合体育館)に出場する網田小6年、村田采暁選手(12)が光井市長を訪ね、大会に向けた決意を述べました。今年2月の県の学年別個人戦でベスト8入り。7月の最終選考会で準優勝し、全国大会への出場権を得ました。村田選手は「試合で一本の大事さを知りました。10月の大会では県代表として全力を尽くしていきます」と約束すると、光井市長は「明るい話題をありがとう。宇土市にとって、とてもありがたい。頑張ってきてください」と激励しました。



花園ハンドボールクラブのみなさん

9/15火 全国小学生ハンドボール大会3位 花園ハンドボールクラブ、市長に報告

第39回全国小学生ハンドボール大会で3位入賞した花園ハンドボールクラブ(堀内澄夫代表兼コーチ)の選手ら20人が光井市長に大会の結果を報告しました。大会は7月30日～8月2日、京都府京田辺市で開かれ、43チームが出場。準決勝でHC調布U-12(東京)に18対25で敗れて3位に。堀内代表が「よく頑張りました。『あっぱれ!』と言ってあげたい」と述べ、平江皆美キャプテン(富合小6)らが「次の大会は優勝を目指して努力したい」と約束。光井市長は「これまでの経験を生かし、さらなる成長を願っています」と期待を込めました。



8/28金 宇土の中学生、地震はねのけ、全国大会で大活躍 光井市長「元気をもらいました」とたたえる

8月に開かれた中学生スポーツの全国大会で優勝など優秀な成績を収めた選手らが市役所を訪ね、大会の結果を報告しました。大会直前の地震で宇土市も被災し、選手らは練習会場の変更を余儀なくされました。それでも全国の強豪を相手に全力で挑み、光井市長は「元気をもらいました」とたたえ、入賞ならずとも本県を代表して全力を尽くした選手らに集まった市民から温かい拍手が送られました。また報告会を前に、地震の犠牲者に黙とうをささげました。チーム(所属)、大会、選手名などは次の通り。

□鶴城中女子ハンドボール部

▷第55回全国中学校ハンドボール大会女子の部決勝で、府中ハンドボールクラブ(東京)を36対32で破り2連覇。通算8回目の優勝。これは全国中学校ハンドボール大会で、男女を通じて単独最多。那須玲衣(3年)、中村紀菜里(2年)、平江心美(3年)の3選手が大会優秀選手に選ばれました。



□松橋HC WINS(クラブチーム)

▷第17回全国中学生ハンドボールクラブカップ2026(男子の部)準優勝。鶴城中の今村流星(3年)、中川斗央豪(2年)、上田勇賢(1年)の3選手が出場。今村選手が大会優秀選手に選ばれました。

□鶴城中 相撲部と空手(クラブチーム)

▷第56回全国中学校相撲選手権大会。宮崎隼選手(3年)が個人戦に出場しました。

▷第34回全国中学生空手道選手権大会。野添太陽(3年)、荒川叶音(2年)、内田航太(1年)、鹿川結翔(1年)、永井壘(1年)の5選手が形で出場しました。

□鶴城、東部、松橋、菊陽(合同チーム)

▷第26回全日本中学生女子ソフトボール大会。鶴城中の濱本梨朱(3年)、藤崎みなみ(3年)、高尾和湖(3年)、小田紅羽(2年)、原田乃愛(1年)の5選手が出場しました。

□網田中

▷第53回全日本中学校陸上競技選手権大会。山内愛琶選手(3年)が女子200mに出場、TR(タイムトライアル)で5位と健闘しました。

